



NEWS RELEASE



2008年5月2日
大阪市立鶴見商業高等学校
ミニストップ株式会社

ビジネス学習の成果を見てください！ 大阪市の高校生たちが奮闘努力した商品開発の取り組み

大阪市ビジネス教育推進委員会(会長:岩井秀男 大阪市立中央高等学校 校長)のビジネス・チャレンジ講座(主担校:大阪市立鶴見商業高等学校 校長:井上省三)では、大阪市の商業高等学校3校から参加した16名の生徒たちが、コンビニエンスストア本部のミニストップ株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:横尾 博)と連携し、教育活動の一環として高校生ビジネス学習講座を2007年9月から行ってまいりました。その中で研究・開発されたお弁当が、ミニストップの近畿地区162店にて2008年 5月13日(火)から発売されることとなりました。

<ビジネス学習のあゆみ>

- 2007年9月 鶴見商業高校生徒代表2名が、ミニストップにコンビニエンスストアについて研究発表
→この熱意が、きっかけとなり「コンビニ弁当」の研究・開発がスタート
- 10月 「コンビニ弁当」研究・開発講座スタート(7回連続講座)
→ミニストップから食品の安全性など専門的なアドバイスと連携している大学からプレゼンテーションの技術を学び、弁当工場見学などを経て試作弁当発表の準備
- 11月 「コンビニ弁当」提案プレゼンテーション大会の開催
→ミニストップの商品開発担当者に緊張の中、プレゼンテーション
働く女性をターゲットに健康面、安全面、収益性なども総合的に提案
- 2008年2月 ミニストップへ弁当試作品プレゼンテーション
→ミニストップの商品化検討の末、実際に商品として発売されることが決定

【今回発売されるコンビニ弁当について】

品名・売価	豆腐ハンバーグ&十五穀米弁当 430円
発売開始	2008年5月13日(火)
発売地区	ミニストップ近畿地区162店にて
内容	働く多くの方々に食べて欲しいという気持ちを込め、健康面を気づかった内容にしました。 332kcal



この件についてのお問合せ先は、
大阪市立鶴見商業高等学校 進路指導部 黒田 TEL06-6911-0415
ミニストップ株式会社 経営企画本部 経営企画部 IR・広報 佐藤 TEL043-212-6477

大阪市ビジネス教育推進委員会が考える ビジネス講座の目的

- 大阪市ビジネス教育推進委員会は、2004年に大阪市立の商業科を持つ高等学校が中心となって、ビジネス教育の推進を目的として立ち上げられました。
- 関西の商業系大学での特別講義や事業所などでのインターンシップを行うだけでなく、連続講座で、より実践的なビジネスの知識・技術を身につけることを学びます。
- 2007年度は、日本の流通業界をリードするコンビニエンスストアについて研究し、マーケティングを学びました。
- 他校の生徒とグループを作り、研究・企画・実践していくことで、コミュニケーション能力を養う学習もここで行います。

大阪市ビジネス教育推進講座への参加校

- 大阪市立 鶴見商業高等学校（大阪市鶴見区、校長：井上省三、主担校）
- 大阪市立 淀商業高等学校（大阪市西淀川区、校長：川端 等）
- 大阪市立 住吉商業高等学校（大阪市住之江区、校長：松井 昌洋）